



## 「個に応じた指導」の充実について

今、国が目指しているのは、「子ども一人ひとりの興味・関心や発達の状況などを踏まえ、それぞれの個性を伸ばし、生きる力を育む教育」です。クラスの中には、様々な特性を持つ子どもがいて、**個に応じた教育・学習環境の整備**が今まで以上に求められています。

これまでの授業スタイルの基本は、皆が同じ内容、時間、場所、方法で一斉に授業を受ける講義形式です。その授業スタイルは、1つの決まった答えや、同じゴールに向かって子どもたちを導く上では効率的ですが、**話を聞くことが中心の受け身になりがち**です。そのため、今目指している教育を実現するために、自分で課題を見付け、見通しをもって学習する授業スタイルが求められています。



自分で課題を見付け、学習計画を立て、学習状況に応じて計画を修正しながら、一人で取り組んだり、友達と対話したりしながら学習を進めることで、「**自己調整力**」や「**主体的に学習に取り組む態度**」が育まれると考えられています。しかし、この授業スタイルは教室の学習環境や児童の実態を十分に把握していないと十分な成果が得られない可能性もあり、**学年や教科、学習内容によって使い分けていく必要**があります。



いずれの授業スタイルも一番の**土台は学習に向かう力(学習意欲)**です。学習への苦手感のある子供たちには問題を工夫する、学習の形態を工夫する等の支援をして学習へ向かう力を高めていくことに力を入れています。

学習に向かう力が高まっている子供たちには、自分で課題をもったり、自分でやり方を考えたりする等、自分で学習の見通しを立て、場合に応じて一人学習、友達と相談して取り組むペア学習やグループ学習など学習方法を工夫しています。

体調が悪かったり、寝不足だったりすると、学習に向かう力を高めることは難しいので、食事、睡眠、ルールを明確にした節度あるゲームの使用など、**規則正しい生活習慣がとても大切**です。

### ◎学習意欲を高める支援の例

- ・どの問題ならできそうかな？
- ・いつだったら取り組めるかな？
- ・誰とだったら取り組めるかな？
- ・どこまでならできそうかな？
- ・どの方法ならできそうかな？

### ◎学習内容についての支援の例

- ・どんなまとめがいいかな？
- ・順序良く説明しているね
- ・どこで悩んでいるのかな？
- ・難しい問題もできそうだね
- ・もう一回確認してみようか？

### ◎学習方法についての支援の例

- ・友達と比べてみたらどうかな？
- ・他のグループの人はどんな考えなのかな？
- ・どの表現の仕方がいいかな？
- ・本で調べる？端末で調べる？インタビューする？